

「CITI Japanプログラム」について

地域医療政策学講座 教授 ひろ せ まさ ひろ
廣瀬 昌博

わが国で今ほど、医療者や研究者に倫理観が求められた時代はないでしょう。そのような折、文部科学省事業として、平成24年度から、e-learning方式による医療倫理教育プログラム(CITI Japanプログラム)が信州大学を中心に配信されています。本学でも同プログラムが受講できるようになり、医学部医の倫理委員会に申請する研究責任者に対して4月から本プログラムの受講を義務付けました。島根県下の医療施設に勤務する医師の方々も受講が可能ですので、ご希望の方は下記までお問い合わせください。



CITI Japanプログラムホームページ
<http://www.jusmec.org/defaultjapan.asp?language=japanese>

問合せ先 臨床研究センター(臨床研究部門)
TEL 0853-20-2515

SHIMANE
UNIVERSITY
HOSPITAL

NEWS

島大病院ニュース▶▶▶▶▶



2014.04

Vol.6

CONTENTS

- リサーチマインドを持った総合診療医の養成プログラム
「地方と都会の大学連携ライフイノベーション」について
- がん患者・家族サポートセンター開設
- 遠隔放射線治療計画システムの稼働
- 「CITI Japanプログラム」について
- 外来化学療法室が増床に
- ICU、救命救急センター病棟、手術等の患者家族待合室の設置について

●●●●● 外来化学療法室が増床に ●●●●●

外来化学療法室 室長 すす みや じゅん じ
鈴宮 淳司

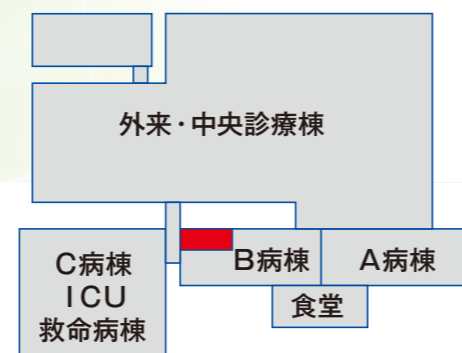
外来化学療法室は専従の看護師6名、隣接して設置している薬剤調整室に勤務する薬剤師、常駐医師と共同で、安全で利便性の高い外来化学療法を提供しています。さらに栄養士による栄養相談も外来化学療法室では行っております。このような質の高い外来化学療法をより多くの患者さんにご利用いただくために、平成26年4月から外来化学療法室の病床を16床から20床(ベッド8床、リクライニング12床)に増床いたしました。



外来化学療法室 ベッド リクライニング 家族待合室 隣接する薬剤調整室

ICU、救命救急センター病棟、手術等の患者家族待合室の設置について

C病棟2階のICU・救命救急センター病棟に入院されました患者さんのお家族の方に、いままでゆっくりお待ちいただける部屋が充分になくご迷惑をおかけしておりました。平成26年5月より、ICU・救命救急センター病棟近くに、広い待合室を用意しますので、ご利用ください。



病院2F平面図



「地方と都会の大学連携 ライフイノベーション」について

地域医療政策学講座 教授 ^{ひろ} ^せ ^{まさ} ^{ひろ}
廣瀬 昌博

文部科学省事業であるリサーチマインドを持った総合診療医の養成プログラム「地方と都会の大学連携ライフイノベーション」の目的は、地域包括ケア・システムを通じて、近未来の超高齢者社会における複雑・多様化したケアに適切に対応でき、現場での問題点や課題を自ずから抽出し、研究を遂行できる能力を有する総合診療医の養成です。地域包括ケアは、「住まい、医療、介護、予防、生活支援」の5つの柱からなっており、急性期から慢性期、療養、介護、

看取りなどの治療・ケアが患者ならびに地域住民のみなさんに切れ目なく提供できなければなりません。そのためには、県市町村、医師会、看護協会や各医療・介護・福祉施設等との間で協議会(ライフイノベーション・コンソーシアム)を設立することが必要です。今後、地域包括ケア・システムの構築とともに同システムを通じた総合診療医の育成に向けて事業に取り組んでまいりますので、みなさまにはこれまで以上にご支援、ご協力をお願い致します。

問合せ先 地域包括ケア・ステーション(卒後臨床研修センター内)
TEL 0853-20-2006

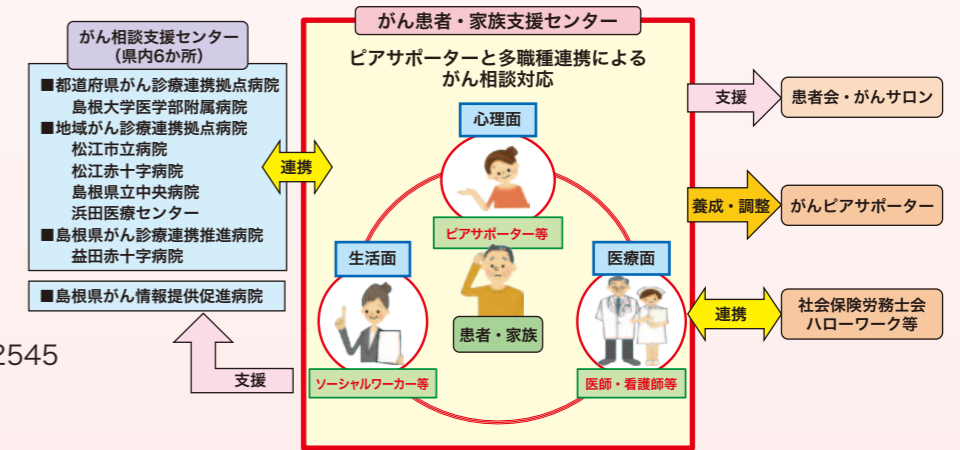
がん患者・家族サポートセンター開設

2人に1人はがんになる時代といわれ、また入院から外来治療へのシフトにより、がん患者さんはそれぞれの社会生活を送りながら治療や療養を続けられています。

「がん患者・家族サポートセンター」は、島根県のがん相談支援体制の連携強化の拠点となるため平成26年4月から当院の外来・中央診療棟3階に設置されました。

主な役割は、がん相談員による相談対応、がん体験者である「ピアサポーター」による相談会の実施、就労問題解決の専門職による相談会の実施、がん相談に携わる医療スタッフを対象とした研修会の実施があげられます。これらにより、患者さん・ご家族が主体的に問題解決に取り組み、生活の質が向上できることを目指しますので、相談を希望される患者、ご家族の方がおられましたらぜひご紹介下さい。

- ▶がんピアサポーターによる相談の調整
- ▶がんピアサポーター養成、フォローアップ研修の実施
- ▶がん相談員研修の実施
- ▶患者会、がんサロン等の支援
- ▶社会保険労務士会等との連携による就労支援 など



問合せ先 TEL・FAX 0853-20-2545

文部科学省 未来医療研究人材養成拠点形成事業

“地方と都会の大学連携ライフイノベーション”

大学を中心としたネットワーク構築 3大学が連携し、相互補完(人材交流)・人材育成体制の構築

大学
ライフィノベーションコンソーシアム(ヘルスケアネットワーク)
島根大学 高齡化先進型地域医療 主導的地域包括ケア人材指導者養成拠点 地方型地域包括ケアシステムの構築
神戸大学 近未来高齡化先進型医療研究 研究推進・国際医療人材養成システムの構築 グローバルリーダー養成拠点
兵庫医大 近未来高齡化先進型医療研究 都市型地域包括ケア人材養成拠点 都市型地域包括ケアシステムの構築

地方 都会で先進・先端医療を学び 近未来の地域医療にフィードバック
都会 高齡化先進型で地域医療を学び 近未来の都市医療にフィードバック

地域包括ケアリーダー

求められる総合診療医像
Requirements for General Physician
●リーダーシップ
●多様なケアニーズへの対応能力
●リサーチマインド

基本コース ●総合診療医育成コース 選択コース ●地域包括ケアリーダー養成コース ●地域医療の研究者養成コース ●グローバルリーダー養成コース

リサーチマインドを持った総合診療医

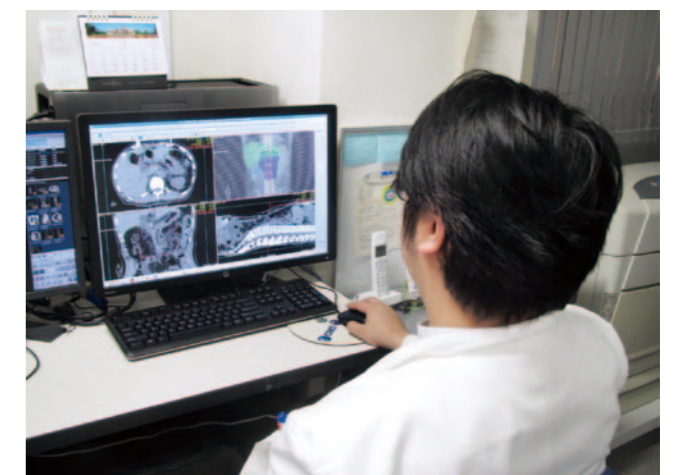
遠隔放射線治療計画システムの稼働

放射線治療科 診療科長 ^{いの} ^{また} ^{たい} ^{すけ}
猪俣 泰典

平成26年4月より国立病院機構浜田医療センターで行われる放射線治療計画を島根大学でも行うことが可能な遠隔放射線治療計画システムが山陰で初めて稼働します。

島根県では当院以西で放射線治療装置が導入されているのは浜田医療センターのみで、しかも常勤の放射線治療専門医は不在です。そのために当院の放射線治療専門医が週2回、浜田医療センターに出向いて放射線治療計画を行っています。本システムを導入することによりさらにきめ細かな対応が可能となり、併せてセーフティー・ネットの役割を果たすことが出来ます。

遠隔放射線治療計画システムの導入は島根県西部の患者さんのがん治療の水準の向上に貢献できるものと確信しています。



遠隔放射線治療計画装置で使用する計画装置と同一の放射線治療計画装置(XiO)の操作画面

問合せ先 放射線治療科(医局) TEL 0853-20-2582



巻き爪・陥入爪に対する 保険外治療を開始いたしました

皮膚科 講師 にい はら ひる ゆき 新原 寛之

巻き爪・陥入爪の発症病態については未だに不明な点が多くかつ正確な疫学調査がなされておられません。専門医師によると軽症例を含めると有病率が約10%と推定されており、日常診療で比較的良好に遭遇する疾患です。爪が巻いた状態が巻き爪で、爪が一部爪周囲の軟部組織に陥入し炎症を生じた場合に陥入爪と診断され、陥入爪の多くに巻き爪を合併しています。陥入爪の自覚症状は主に疼痛で、重症例では激痛のため歩行困難となります。疼痛の集中力低下、鎮痛剤使用の副作用から日常生活のQOL及び活動のパフォーマンスを極端に低下させます。経済活動における損失も高額であると考えられます(例えばプロスポーツ選手において顕著です)。これまで巻き爪・陥入爪における治療は、保険診療における陥入爪部分切除のみでしたが、術後の爪の整容上の問題や再発率が40～80%と高いことから手術治療は慎重にすべきとの論文が散見されます。近年、巻き爪を矯正する保存的治療が保険外診療で行われるようになり当科でも施行し、ほとんどの患者様は侵襲的な手術よりも保存的治療を希望されています。また、足爪白癬が原因で巻き爪を生じる症例などもあり、当院では巻き爪・陥入爪のトータルケアとして皮膚科が担当させていただきます。図1は陥入爪の矯正治療例で、図2は巻き爪の矯正治療例です。いずれの症例も患者満足度はとても高いものでした。巻き爪・陥入爪の保存的治療には表のようにいくつかの方法があります。マチワイヤーやコレクティオは、矯正金属を爪に装着して週単位でゆっくりと爪を矯正するものです。炭酸ガスレーザーは爪のケラチンタンパクを熱凝固させ、爪を矯正させるものです。巻き爪による陥入爪で疼痛が強い場合などに、爪矯正してすぐに除痛が可能となります。巻き爪・陥入爪の治療に関して、パフォーマンスが十分に発揮できるよう患者さんにあった方法をご提案いたします。

図1

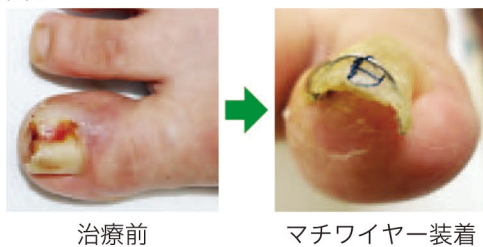


図2



巻き爪矯正術料金

巻き爪矯正術料金		
①マチワイヤー		
初診患者		10,908円
再診患者	1回につき	5,400円
②コレクティオ		
初診患者		10,368円
再診患者	1回につき	4,860円
③残存消耗品による再処置	1回につき	2,160円
④炭酸ガスレーザー	1回につき	7,776円

問合せ先 外来TEL：0853-20-2382 病棟TEL：0853-20-2485

医局TEL：0853-20-2210 FAX：0853-21-8317

Eメール：derma@med.shimane-u.ac.jp HPアドレス：http://www.med.shimane-u.ac.jp/dermatology/

内視鏡下筋膜下穿通枝切離術が 保険収載されました

皮膚科 講師 にい はら ひる ゆき
新原 寛之

海外において難治性下肢潰瘍の約85%に静脈うっ滞が関与しているとの報告があります。静脈瘤の治療として圧迫療法が以前より行われており、その有効性が報告されていますが、下腿穿通枝静脈血が逆流を生じた不全穿通枝を伴う静脈瘤に対しては効果が低いとされます。静脈うっ滞性難治性下腿潰瘍症例の63%に不全穿通枝がみられるとの報告があること、太い不全穿通枝の存在する下腿内側遠位部が潰瘍好発部位であることから、静脈性潰瘍において不全穿通枝が重要な役割を担っています(図1)。以前から、潰瘍部を大きく切開する直達手術(Linton術)にて不全穿通枝切離が行われていましたが、術後の創部治癒遷延などの合併症が問題でした。近年の内視鏡下手術の発達から、1985年にHauerが内視鏡を用いた筋膜下穿通枝切離術subfascial endoscopic perforator vein surgery(SEPS)を報告して以来SEPSが試みられるようになりました。Pierikは39症例でLinton術式とSEPSのランダム化比較試験を行い、両群間で潰瘍治癒率、潰瘍再発率に差を認めなかったのに対して、術後の創合併症はLinton術式で53%、SEPSで0%とSEPS群で有意($P<0.001$)に創合併症が低いと報告しています(図2)。当院では心臓血管外科と皮膚科とのチーム医療にて下肢静脈瘤の外科的治療を行っております。平成20年からSEPSを先進医療取得目的に難治性下腿潰瘍症例に導入し、手術患者さん全員の潰瘍が治癒しております。今回SEPSが保険収載され、より多くの

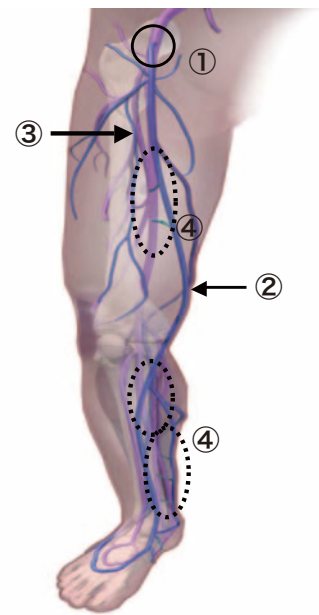


図1 下肢の静脈系
①大伏在-大腿静脈合流部
②大伏在静脈
③大腿静脈
④穿通枝

の不全穿通枝を原因とする静脈うっ滞の患者さんに有効な治療が提供できるようになりました(図3)。

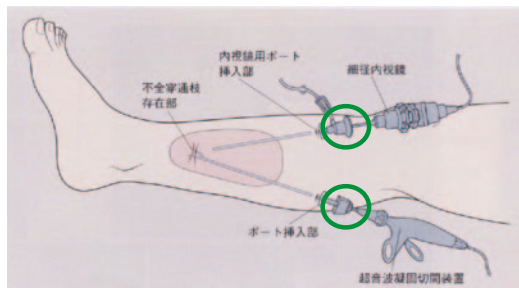


図2 SEPS術式
(春田直樹ほか、手術2000:54:1114)



図3 術前後臨床像(SEPS後癒痕治癒)

問合せ先 外来TEL:0853-20-2382 病棟TEL:0853-20-2485
 医局TEL:0853-20-2210 FAX:0853-21-8317
 Eメール:derma@med.shimane-u.ac.jp HPアドレス:http://www.med.shimane-u.ac.jp/dermatology/



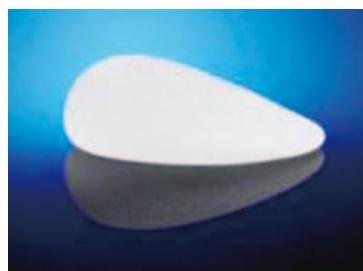
乳房再建用インプラント・ エキスパンダー実施施設認定を取得しました

乳腺・内分泌外科 ひやく ども み き
百留 美樹

平成25年7月にブレストインプラント(シリコンゲル充填人工乳房)による乳がん術後の乳房再建手術が保険適用となり、加えて乳房再建用ティッシュ・エキスパンダー(組織拡張器)も保険適用となりました。エキスパンダーは組織を拡張させるためのもので、これを一定期間、乳房皮下や大胸筋下に埋め込むことで、その後のインプラント挿入が容易になります。これまで経済的負担から乳房再建手術をあきらめていた患者さんにとって、これは大きな朗報であり、乳房再建手術が乳がん治療の一環として認められたことは、乳がん治療の1つの節目になると思います。



ラウンド型インプラント



アナトミカル型インプラント



ティッシュ・エキスパンダー

しかし、保険適用の対象となるためにはいくつかの制約があります。その一つは、実施施設認定を受けた医療機関のみでしか保険適用の乳房再建手術をうけることができないということです。日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会主催の講習会を受講した乳腺専門医と形成外科専門医の双方が勤務する医療機関であることが認定の条件となります。当院は平成26年2月に実施施設認定を取得することができました。もう一つは、保険適用となるインプラントとエキスパンダーの種類が限られているということです。インプラントはナトレル® ブレスト・インプラント(ラウンド型)とナトレル® R410ブレスト・インプラント(アナトミカル型)の2種類が保険適用となっています。アナトミカル型はしずくの形をしており、ラウンド型と比較しより自然な形状です。エキスパンダーはナトレル® 133ティッシュ・エキスパンダーのみが保険適用となっています。

乳がんは女性が患うがんの中で最も多いがんであり、日本では毎年約6万人の方が乳がんと診断され、そのほとんどの方が手術を受けることとなります。そのうち乳房温存手術を受ける方が7割、乳房切除手術を受ける方が3割といわれています。乳房切除手術を受けた患者さんに、インプラントによる乳房再建手術の選択肢を提供できるようになったことは、当院にとって大きな前進です。これを機に更に患者さんのニーズに沿った医療を推進していきたいと思っております。

(写真はアラガン・ジャパン(株)ホームページより転載)

問合せ先 外来TEL : 0853-20-2384
病棟TEL : 0853-20-2494 (B病棟 7階)
0853-20-2691 (C病棟 9階)
医局TEL : 0853-20-2232
FAX : 0853-20-2229
Email : breast1@med.shimane-u.ac.jp
HPアドレス : <http://www.shimane-u-dgs.jp>



お知らせ

開放型病床の利用案内

平成12年8月に設置しました開放型病床は、地域診療所等の医師が開放型病床利用登録医として、当院主治医との診療情報の交換をもとに、共同して入院中の紹介患者さんに診療・指導を実施する制度です。

医師同士の連携により円滑な紹介・逆紹介が促進されるとともに、退院後も中断することのない一貫した良質な診療提供ができますので、ご利用ください。

登録医の申請について

開放型病床を利用しようとする先生は登録医申請書を医師会会長または歯科医師会支部長の推薦を得て、当院地域医療連携センターに提出していただきます。登録の手続きが終わりましたら登録証を交付します。

申請に必要な資格や条件はありませんし、今まで一度も患者を紹介したことがなくても登録医になることができます。

共同指導について

登録医からの紹介により患者さんが入院となった場合は、地域医療センターで当該診療科との連絡調整を行い主治医と登録医と共同して治療を進めます。入院患者さんの診察、指導を行われた場合に開放型病院共同指導料(1)350点が算定できます。是非、この制度をご利用ください。

開放型病床での共同指導のフロー図



- ①開放型病床を利用される場合は、あらかじめ来院日時を地域医療連携センターまでご連絡ください。
- ②来院時(共同指導時)地域医療連携センターにお越しください。白衣をお渡しし、病室までご案内いたします。
- ③回診後は、病棟にて「開放型病床入院患者共同指導記録」に記載し、共同指導記録および白衣を地域医療連携センターまでご返却ください。
- ④貴院カルテ用控えは、当院主治医が「開放型病床入院患者共同指導記録」に記載後、後日郵送いたします。

問合せ先 地域医療連携センター TEL : 0853-20-2061



お知らせ

島大病院では 幅広い疾患領域に 対する治験を 実施しています



当院は、治験推進施設として、内科・皮膚科・外科・泌尿器科・精神科・眼科・麻酔科など、様々な領域の治験を実施しています。

治験に関する情報は、治験管理センターホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/tiken/toppage>で公開していますが、創薬ボランティア（治験にご協力いただける方）を募集中の治験などについて、一部、ご紹介いたします。

～麻酔科領域～

試験名	対象疾患	診療科	主な選択基準	主な除外基準	治験参加期間	募集期間(予定)
慢性疼痛患者を対象としたS-8117のオープンラベル試験	慢性疼痛	麻酔科	<input type="checkbox"/> 満20歳以上80歳未満の男女 <input type="checkbox"/> 12週間以上、非悪性疼痛病因による痛みが継続している方 <input type="checkbox"/> 各種鎮痛薬を使用しているにもかかわらず、痛みが強い方	<input type="checkbox"/> 心因性疼痛 <input type="checkbox"/> 精神疾患の治療中 <input type="checkbox"/> 血糖コントロールが著しく不良な糖尿病	最大11週間(服薬期間10週間)、長期投与参加の場合は最大57週間(服薬期間56週間)	平成27年5月末まで
慢性腰痛症患者を対象としたS-8117のプラセボに対する優越性試験	慢性腰痛症	麻酔科	<input type="checkbox"/> 満20歳以上80歳未満の男女 <input type="checkbox"/> 12週間以上、非悪性疼痛病因による腰部の痛みが継続している方 <input type="checkbox"/> 各種鎮痛薬を使用しているにもかかわらず、痛みが強い方	<input type="checkbox"/> 心因性疼痛 <input type="checkbox"/> 精神疾患の治療中 <input type="checkbox"/> 血糖コントロールが著しく不良な糖尿病	最大11週間(服薬期間10週間)	平成27年9月末まで

該当する患者さんがおられましたら、ぜひ、当院へご紹介いただきますようお願い致します。

問合せ先 臨床研究センター治験管理部門

TEL : 0853-20-2492 FAX : 0853-20-2495 E-mail : tiken@med.shimane-u.ac.jp



島大病院ニュース

お知らせ

救急医学講演会

外傷初期診療の基本

講師：渡部 広明 先生

泉州救命救急センター
Acute care surgery センター長
外傷外科部長

渡部先生は島根医大のご出身で、外傷治療のスペシャリストとしてご活躍中です。

外傷の初期診療の基本についてお話をさせていただきますので、初期・後期研修医、医学生だけでなく、外傷診療に携わる学内外の先生方も是非ご参加ください。



と き

平成26年4月24日（木）

18：00～19：00

ところ

臨床講義棟小講堂

主催：島根大学救急医学教室

Tel / Fax: 0853-20-2402

E-mail: qqigaku@med.shimane-u.ac.jp

共催：島根大学医学部医師会

平成26年4月発行

編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援室
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>